

舟岡山ふなをかは紫野むらさきのの西にあり、舟の形に似たれば名とせり。応仁年中此山に砦をかまへ、細川山名ほそかはやまなの両陣数度合戦ありしなり。

円融院ゑんゆうゐん位さり給ひて後、舟岡ふなをかに子日し給ひけるに、

まゐりて朝に奉りける

新古今 哀なりむかしの人を思ふにはきのふの野辺にみゆきせましや 一条左大臣

拾遺 舟岡ふなをかの野中にたてる女郎花をみなへし渡さぬ人はあらしとぞ思ふ 読人しらず